



「インターネット国際政経塾」(増田塾)は大盛況

物事には「旬」がある。

今回の「インターネット国際政経塾」(増田塾)は正に変動する市場の旬をついたものとなった。

株式市場の基本は「下げ相場」、そして今は短期リバウンド(上げ)相場。

FRB はインフレにストップをかける為に、緩和政策を捨てて引締め政策に変わった、つまり増田俊男の「タライ論」で言えば、タライの水が減り(緩和縮小-終了)、水が重くなり(利上げ)、餌が少なくなろうとしている(財政出動縮小)。

水の量が減り、抵抗が大きくなったタライの中で魚が活動するには今までより以上の餌が要るのに餌はどんどん減ってゆく。

「何故大暴落と大不況が起きるのか」を「増田塾」の第一話で克明にお話します。

受講者の特権として毎朝「本日の株式指南」の動画をお送りしている。

2月2日の本誌で、2月2日から4日までのニッケイの動きをチャートで示し、毎朝一番で私がアドバイスした内容を掲載した。

毎日面白いように利益が得られた事実が見て取れた。

本日は2月14日から16日(本日)までのニッケイチャートと毎日の私のアドバイスを記したので見て頂きたい。

私には、アメリカと欧州がウクライナの危機をことさら煽っている意図が100%分かっている。

それと同じく市場で乱高下を起こしている大手仕手集団の狙いも分かる。

どう考えても下がるしかない時は必ず高騰、上がるしかない時は急落する。

一般投資家は常に悪徳仕手の餌食になっている。

私のスタンスは仕手の気持ちになって考えることである。

市場に支配者と犠牲者がいるなら、私は支配者側だ。

と言うわけでこれから約10日間毎朝、「今日はどうするか」をお話します。

支配者側に立って儲けたい方は増田塾にご参加下さい。

今からでも決して遅くない!

家族でましなレストランで食事をする値段でどれだけ儲かるか考えてみて下さい。

Nikkei 225 (*N225)

Osaka - Osaka Delayed Price. Currency in JPY

26,865.19 -214.40 (-0.79%)

At close: February 15 03:15PM JST

*N225 26859.07



「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。